

棚田に吹く風

2020
春
Spring
季刊

2 特集
棚泊～たなはく

5 フォトエッセイ
大地の四季

6 棚田・里山からのたより
山里の暮らしをつなぐ
～結成20年の大栗安棚田倶楽部
静岡県浜松市天竜区大栗安

8 棚ガール
棚田見聞録

9 棚田博士は今日も行く
天城山麓荒原の棚田
静岡県伊豆市長野

12 会員のひろば

14 かつどうノート
スタッフのつ・ぶ・や・き

15 Project Report



棚泊

たなはく



姨捨棚田と夜のなからや

「カーテンを開けるとそこは棚田」そんなイメージにピッタリの棚田のお宿情報をお届けします。窓辺に広がる美しい棚田の光景、心地よい棚田散策のあとは宿での夕食と歓談が待っています。棚田米のご飯と旬の山菜などを味わいながらの旅談義は訪れる人を癒してくれましょう。最近では、棚泊の魅力を求めて外国からの旅行者も増えているそうです。

姨捨ゲストハウス

「なからや」

長野県千曲市・姨捨棚田

窓際でワイングラスを片手に棚田

を眺望できる贅沢なゲストハウス。眼

下に広がる棚田、さらには千曲川や善

光寺平の市街地も一望できます。田植

え時期の水面の棚田、黄金色に染まる

秋の棚田、そして冬場には雪化粧の棚

田など四季を通じて旅行者を楽しませ

てくれます。姨捨棚田は日本屈指

の広大な土坡の棚田で曲線美が優雅

です。このゲストハウスは古民家を

譲り受けリノベーションしたもので、

食材持ち込み可の自炊が人気を呼び

SNSや予約サイトを通じ内外の観

光客が訪れています。棚田の坂道を自

転車で登る「姨捨棚田ヒルクライム」

〈世界一決定戦〉など宿独自のイベン

トも人気を呼んでいます。



◆Tel.090-2306-7226 / booking.com

農家民宿

「こうや」他

岐阜県恵那市・坂折棚田



恵那市の観光シンボルの一つである坂折棚田は約400年の歴史のある伝統的な棚田として「日本の棚田百選」に選ばれています。この棚田では多くの訪問者を受け入れるためにユニークな取り組みをしています。保存会が中心になって6軒の農家が農泊推進協議会を組織し共同で運営に当たっています。棚田の中央部の農家民宿「こうや」は明治からの歴史ある古民家。そのほか協議会の宿として「ふ

うちやん」「山の街道」「暮らしの宿ときのうた」「銀もくせい」「望郷の森キャンプ場」があり、いずれも棚田に近いうえに野菜作りや森の手入れなど昔懐かしい田舎生活が体験できます。



農家民宿「こうや」



農家民宿「こうや」

◆坂折棚田保存会 Tel.0573-23-2032 <http://sakaori-tanada.com/>

「棚田のはやし」

「棚田ハウス」

滋賀県高島市・畑棚田

2021年には全国棚田サミット開催が予定されている高島市。この地域には滋賀県唯一の棚田百選に選定された畑棚田があり、棚田に面した集落には、2軒の古民家宿泊施設があります。

棚田のはやし

棚田上部に位置する古民家で自ら生産した棚田米や自家製の味噌汁など素材にこだわったお食事を提供するとともに、味噌づくりや棚田での農業体験も可能です。棚田オーナー制度を利用するお客様もよく利用する宿です。

棚田ハウス

棚田米を使ったかまど炊きのごはんや味噌汁など地元産素材にこだわったお食事を提供するほか、味噌づくり、更にはブルーベリーやルバーブを使ったジャム作り、星空観察など都会では味わえない四季折々の体験が可能です。棚田の良さを感じていただけます。一棟貸しタイプ。



◆棚田ハウス Tel.090-4298-6309 ◆棚田のはやし Tel.0740-37-0092

飛鳥の宿 「祝戸荘」

奈良県明日香村・稲淵棚田

国営飛鳥歴史公園祝戸地区にたたずむロジック風の宿泊施設で、高台にあるため眼下には素晴らしい棚田風景が広がっています。一室一室が独立した造りで、飛鳥の民家にお泊りいただく感覚でお寛ぎいただけます。お部屋は11室あり、各部屋名は飛鳥時代の旧都や当時活躍した人物にちなんだもので、これに由来する飛鳥の書や絵画などを飾っています。27畳の部屋もあり様々な研修にも利用できます。お料理は里山料理と名物「飛鳥鍋」、特別料理の古代食などお楽しみいただけます。飛鳥周辺の古代史探訪・棚田散策などご家族やグループでのご利用に最適な宿です。

◆Tel.0744-54-3551



古代食

「つづら山荘」

福岡県うきは市・つづら棚田

うきは市の観光スポットの一つであるつづら棚田、この棚田の最上部標高約450mに位置するのがつづら山荘です。古民家を改築した昔ながらの味わいを残す建物で、地域の方々で組織されるつづら棚田保全協議会により運営されています。

宿では棚田周辺で穫れた旬の野菜や山菜等を使った料理も味わうことが出来ます。秋には稲穂と彼岸花の美しい景色が広がり多くの訪問者で賑わいます。ただし、農業の繁忙期と彼岸花めぐりイベント期間、冬場の積雪がある時期は一部宿泊等の受け入れが出来ないこともありますので、事前にお問い合わせ下さい。

◆Tel.0943-77-3100



その他の代表的な棚泊施設



- 「五郎兵衛」
- 「真沢の森」
- 「トロノキハウス」
- 「千枚田荘」
- 「通潤山荘」
- 「コテージ棚田の里」
- 「ほおのき棚田の宿」
- 「農家民宿 里がえり」

大山千枚田 / 千葉県鴨川市
 真沢棚田 / 群馬県みなかみ町
 蒲生棚田 / 新潟県十日町市
 丸山千枚田 / 三重県熊野市
 白糸台棚田 / 熊本県山都町
 毛原棚田 / 京都府福知山市
 由布川奥詰棚田 / 大分県由布市
 市宇の棚田 / 徳島県上勝町

Tel.04-7098-0758
 Tel.0278-20-2121
<http://toronoki.com/>
 Tel.0597-97-0680
 Tel.0967-72-1161
 Tel.0773-56-2105
 Tel.097-583-4422
 Tel.0885-46-0293



雲南省 甲寅棚田

中国の棚田に見る 大地の四季

写真・文
福田 伸吉

中国雲南省にある棚田は2013年
ユネスコの世界文化遺産に登録され、近
年は観光ブームもあり国内から沢山の
観光客が訪れるようになりました。棚
田のあるこの地は緯度的には台湾と同
じ位に位置し、標高は1000mから
1500mの所に分布しています。桜
は早咲きの桜で河津桜に似たピンクで
小さく可愛い花が咲きます。最近の観
光ブームにあわせ棚田の近くに桜の木
が植えられる様になりました。



福田 伸吉 ふくだ しんきち

1944年群馬県生まれ。1968年から世界各地の蒸気機関車を撮り続ける。蒸機の終焉を機に2012年から棚田撮影に傾注。現在も日本・中国の棚田撮影を継続中。これまでに「蒸機」「棚田」を題材に11回にわたり個展を開催。日本中国写真芸術協会会員。東京都在住。

●最近の個展

- 2012年 「花着紅雪・中国SLの旅」オリンパスギャラリー東京
- 2016年 「美・日本の棚田」コニカミノルタプラザ
- 2017年 「稲掛・日本の棚田」オリンパスギャラリー東京
- 2019年 「雲上の棚田を往く」ポートレートギャラリー

●写真集

- 1987年 「蒸気機関車」大塚カラー印刷
- 1996年 「煙遊紀行・悠久なる大地の旅」Bee Books
- 1998年 「煙遊紀行II・世紀末世界を駆けた蒸機」Bee Books



夕方田んぼから
家に戻るアヒル

棚田・里山
からの
たより



山里の暮らしをつなぐ 〜結成20年の大栗安棚田倶楽部

大栗安というところ

地区の歴史は500年以上前に遡ることができます。天正年間（1573〜1592年）にこの地の代官を務めた片桐権右衛門は、大坂の陣で徳川方について参戦したといわれます。その頃から人が住み、田んぼもあつたでしょう。

江戸時代は天領でしたが、今は浜松市天竜区大栗安です。大字の中に6つの集落が点在し、棚田はそのうち本村に約280枚、檜曾礼に約200枚あります。この2箇所を総称して「大栗安の棚田」と言っています。

少し南の「長沢」という地区には、かつて三千枚以上の棚田がありました。そのままだったらどれほど壮観かと思いますが、植林され、今は田んぼとしては残っていません。大栗安は長沢ほど大規模でなく、お米の収穫量も自家用+α程度だったので、積極的な植林がされなかつ

たのも、棚田が残った要因かなと思います。

お茶をメインに、棚田で米

地区の農家の主業はお茶です。米は自家用が中心で、残った分を販売しています。多くの農家は山を持っており、以前は枝打ちなども自力でしていました。山がありお茶があり米があり自家用程度に野菜も穫れる、本当に理想的な素晴らしい環境で、この暮らしは宝の山だと思っています。

実は我が家では、これまで苗代田に初を蒔き、苗取りをし、手で田植えをしてきました。一昨年から、苗は知人に頼んで箱苗を買うようになり、そこは楽になりました。本当は苗代田の苗の方が丈夫で、できたお米も美味しいのですが、我が家以外にもう一軒が、今も機械を使わない田植えをしています。



1: 棚田の景観 / 2: 田植え風景 / 2: 夏の草取り / 4: はざ掛け

大栗安棚田倶楽部の活動

2000年に、本村と檜曾礼の住民15戸で大栗安棚田倶楽部を作り、地域の活性化に取り組んできました。田植えや稲刈り、収穫祭、棚田ウォーキングなどのイベントをやっています。炭焼きもあります。春は一番茶と時期が重なるので、とても大変です。しずおか棚田・里地くらぶの方や一社一村しずおか運動の協力会社が手伝いに来てくれますが、イベント当日だけでなく準備の人手も借りたいところです。

秋の棚田ウォーキングは、日程を11月23日に固定して、道の駅・熊水車の里に集合し、大栗安まで歩いて登り、本村と檜曾礼の棚田を案内します。お昼は竹筒でごはんを炊き、午後は注連飾りやクリスマスリースを作るなどして、3時頃まで過ごします。子供さんを主な対象に始めたのが、大人にも人気が続いています。ただ、ここ2年ぐらいはクリスマスリースの材料（木の蔓や松ぼっくりなど）を集めるのが大変になり、注連飾りだけにしています。

オーナー制度は検討したことも



■ 棚田へのアクセス

【公共交通】 遠州鉄道西鹿島駅前より「くんま水車の里」方面への路線バスは廃止。代替えの乗り合いタクシーにて約45分。最寄り駅にはレンタカー無し

【自動車】 浜松浜北ICより西阿多古川沿いの県道9号線で道の駅「くんま水車の里」を目指す。ICより約18km、製茶工場の先を右折。右折点に標識あり

■ お問い合わせ

浜松市天竜区役所 農業振興課
Tel. 053-922-0030

静岡県・浜松市



ありますが、踏み出すまでには至っていません。
一社一村しずおか運動で協力していただいている(株)松和技研は、イベント時だけでなく休耕田の草刈りにも年3回来てくれて、本当に助かっています。
いろいろな助成金や補助金があり、利用させてもらっています。ただ、それを申請するための事務量の多さも半端ないです。使い勝手がそれぞれ違うので、一つにまとめることもできにくい。棚田地域支援法ができた話は聞きましたが、今のマンパワーでは残念ながらそこまで手が回りません。

今後の不安と希望

倶楽部の結成から20年経ち、社会情勢も変わりました。急須のない家が増え、2リットルのペットボトル茶をまとめて買っていく家庭、接客でコーヒーを出す会社。今、お茶の相場は昔の半値です。山の杉や檜は言うに及びません。住民は20歳年をとリ、家族の介護をしている家も、街へ下りた家もあります。公共交通はバスが廃止されました。車がない人は来にくいですね。今後もここで暮らし続けていけるのか、正直不安があります。
一方で、他地域の頑張っている情

報も入ってきます。やってみないと考えていることもいくつかあります。例えば農業技術について大栗安で使いやすいものを研究して、草取りなど稲作の手間を省けないか。情報発信をもう少しうまくできないか。単発イベントだけでなく継続的な応援団があったら何ができるか。道は遠いです。あと10年が正念場かなと思っています。



※この記事は、棚田倶楽部代表の鈴木さん（写真）へのインタビューを元に構成しました。

（大栗安棚田倶楽部 鈴木芳治）

棚 ガール Tana Girl

Vol.11

山口県長門市

和田あいつ(47歳)

棚田の虜になった女子、通称「棚ガール」
そんな女性を紹介するコーナーです!!



ひかしうしろばた

私は、22年前に故郷にUターンし空き家をリメイク。雑貨店や雑貨製造などの仕事をしていました。そこで経験した沢山の出来事は人と土地、暮らしなどを通じて繋がりが広がっていくという事です。自分が生まれた土地が今尚ある事、そして自然豊かな環境で子供達を育てられた事に感謝を持ちながら、地域という資源を次世代にも繋いでいきたいという思いが体と時間を前に動かしていました。

長門市向津具半島の魚の鱗のような棚田群の一部に東後畑棚田もあります。全国どの地域も問題点は同じで、どんどん耕作放棄地になっています。私は農業は経験がありません。復田してお米を植える事もできません。だからこそ女性でも未経験でも出来る事はないかなあと考え、地域の人や広域の人達と長い歳月をかけて共に交流しながら見つけ出したのが、棚田の花段です。

棚田の花段とはときめく棚田。耕作放棄地の棚田を開墾しハーブを植え香りの棚田を作りました。日本海に映えるお花も植えました。苦労や失敗の繰り返しでしたが、工夫が成功し発展、前進へ繋がった事もあります。先人がかいた汗と同じ汗をかいていると、土も草も花も風もみんな応援してくれているように感じるんです。

人が動き、楽しみ、笑うと、未来をドライブ出来るかのように「夢」は心と体を支えてくれます。これからも継続して、ときめく棚田も棚田群の一部になるように交流と挑戦を繰り返していきたいと思います。

人が動き、楽しみ、笑うと、未来をドライブ出来るかのように「夢」は心と体を支えてくれます。これからも継続して、ときめく棚田も棚田群の一部になるように交流と挑戦を繰り返していきたいと思います。

田んぼに入る絵描き 棚田見聞録

絵・文 酒井英次

千葉の鴨川市川代かわしろの柿木代かきのみよ棚田です。ここは、棚田ネットワークが毎年田植えや稲刈りの米作り実作業を行っている棚田です。

私は今まで作業に参加していませんが、この川代棚田の大基盤整備田の最奥に奇跡的(?)に存在する古田に魅せられて何年も取材をしてきました。今回やっと絵が出来ました。

一部の田はせま・ま・直しを行って大きな田になっていますが、多くは地形に沿った古式の田です。ネットワークの作業に参加して、この貴重な棚田の保全に協力してください。同じ鴨川の(有名な)大山千枚田に行ったら、近くの川代の柿木代棚田にも是非寄ってください。

なお、この絵は来る2021年(令和三年)に東京で行う「50年の50点」絵画展で皆さんに見てもらおう予定です。



柿木代春秋図 I (112×291cm 2019年11月)



棚田博士 は 今日も行く!

中島峰広の
全国棚田行脚

天城山麓荒原の棚田

静岡県伊豆市長野



なかしま みつひろ
中島 峰広 (棚田博士)

早稲田大学名誉教授。学術博士。NPO
法人棚田ネットワーク代表。全国棚田
(千枚田)連絡協議会理事、棚田サミッ
ト開催地選定委員会委員長。1933年
宮崎県生まれ。早稲田大学教育学部地
歴科卒。2004年まで早稲田大学教育
学部教授。著書に『日本の棚田—保全へ
の取組み』『百選の棚田を歩く』『続・百
選の棚田を歩く』『棚田 その守り人』(以
上、古今書院)。現在、百選外の棚田に
ついての執筆準備のため全国行脚中。

伊豆市は静岡県東部、伊豆半島の中央部を占め、平成の大合併で誕生した新市。かつての修善寺町、天城湯ヶ島町、中伊豆町、土肥町の4町からなる。長野は旧天城湯ヶ島町の中心市街地から東1・5キロの地にある天城山北麓の集落。長野の荒原は百選選定後の1991年12月下旬に一度訪ねているが、その時には存在を確かめただけで、詳しい調査は行わず、棚田の守り人にも会わなかった。再度の訪問は2010年静岡県松崎町で開催された全国棚田サミット以来の知己で親交のある伊豆市在住の静岡県職員土屋和太さんに誘われて実現、守り人にも会うことができた。

2019年8月下旬に伊豆市長野を訪ねた。東海道線の三島駅で下車。伊豆箱根鉄道で修善寺駅へ

向かう。駅前5番乗り場から発車する湯ヶ島、湯ヶ島温泉、天城の杜、八丁池口、河津駅行きなど1日33便のバスを利用し、湯ヶ島バスターミナルか弘道寺入口で下車する。車による経路は、駅前広場を背にして交差点まで進み右折、狩野川を渡り、横瀬交差点を直進する。湯川橋交差点を左折、しばらく市街地を走った後、畑入口交差点を左折、下田に至る国道136号および414号に入る。国道をひたすら南下、月ヶ瀬インター経由で湯ヶ島の市街地に入る。市街地中央部、弘道寺入口の交差点を左折し、東へ長野川沿いの市道を100メートルほど上ると長野の集落がある。

天城山を仰ぐ百選の棚田

棚田は、南に天城山脈の山嶺を仰

ぐ位置にあり集落を取り囲むようにして、標高300〜350メートルの傾斜10分の1の斜面に分布。耕作放棄はほとんどみられず、よく耕作されている。荒原は小字をさらに細分化した耕作区の名称、集落の西側の部分を指す。農水省による百選の個票では面積2・0畝、25枚と規模は小さい。耕作戸数12戸、法面は土坡とあるが、ところどころ石積みもみられる。現在の耕作者は5戸、すべてワサビ田を所有する農家である。その分布はほぼ3つの部分に分かれる。北の部分は後述する守り人の浅田さんが耕作する3枚の棚田とそれを1〜2畝程度の畑5〜6



1: 庭先に咲く夏の花 / 2: 土坡と石積みが混在する棚田 / 3: 棚田百選とジオパークの看板 / 4: 浅田ファームの浅田藤二さん

枚が取り囲んでいる。3枚の田は段になり上段は小さく3[㌔]程度、中段と下段は7[㌔]ほど。法面は上・中段の高さが1・5〜2[㌔]、石積みと土坡になっているが、下段は土坡のみで高さが5〜6[㌔]はある。その巨大な法面から時期はわからないが畝町直しが行われたのではないかと考えられる。畑になっている部分は土地の言葉でマサと呼ばれる粘土盤が耕土の下にないため、水を貯留することが出来ず棚田にはならないそうだ。中央部は10[㌔]前後の比較の広めの棚田がゆったりと広がっている。法面は土坡、高さは2[㌔]前後のものが多い。南の部分は1枚が2〜3[㌔]程度の狭い棚田が2列になり、階段を形成、高さ2[㌔]前後の石積みが5段は数えられる。コンパ

高価で売れる自然栽培米

クトにまとまった棚田である。

棚田の守り人は浅田ファームの経営者浅田藤二さん55歳、棚田地域では異色の若さである。妻51歳、長男19歳と新宅で暮らし、母屋には自立している父親88歳が住んでいる。ファームは本人と妻、長男、女性1人、男性2人のパート従業員によって運営される。浅田さん自身は地元高校から日本体育大学に進んだスポーツマン、バレーボールの選手だったそうだ。大学卒業後、天城湯ケ島町役場に入り、平成の大合併後の47歳まで勤務した。役場に勤務中も父親の農作業を積極的に手伝う兼業農家であったが、退職後本格的な専業農家になった。

農地は自作地の水田50[㌔]と放棄された水田20[㌔]を小作料1万円で借り受け、あわせて70[㌔]、6か所に分散する25枚を耕作している。その他、畑30[㌔]、ワサビ田30[㌔]を有し、トラクター16馬力、歩行型2条田植機、バインダー、ハーベスターなどの農機具類を所有。経営的には米・ワサビ・野菜類が主要な収入源だ。米は、超高級米で知られる神子原米を売り出した石川県羽咋市の農協職員、僧侶でもある高野誠鮮氏に師事し、遺伝子組み換え種子、化学肥料、動物性堆肥を使用しないことを固くまもる自然栽培を行っている。その手法は、まず長年の施肥により蓄積した窒素分を3年かけて除去することから始める。1年目はムギを栽培、2年目、3年目は雑草

を繁茂させて窒素分の吸収・除去をはかる。そして4年目から作付けをするのだが、耕起は浅く10[㌔]程度にして、ワラと地域づくり協議会が所有する粉砕機にかけた竹チップのみを堆肥として用いて栽培、バインダーで刈り取り、ハサ掛けにして天日乾燥にする。当然収量は少なく10[㌔]当たり420[㌔]程度とのこと。しかし、これを1[㌔]1000[㌔]の価格で6軒の米屋に40俵ほど出荷、200万円を超える収益をえいているというから驚きだ。

棚田農家を支えるワサビ栽培

ワサビは浅田ファームの最も重要な収入源。自宅から車で20分走り、さらに徒歩で15分上った天城山中腹の沢にワサビ田はある。このため昼食を持参して山に登り、17度以下の水温のなかで作業は行われる。30[㌔]を所有しているが、10[㌔]は夏季に根付けが行われ、1年半後に収穫できる育成田。残りの20[㌔]で冬季に収穫が行われ、10[㌔]当たり数百万円の売り上げがあるという。これだけでも十分に自立できる収益である。

畑でも水田同様、自然栽培の3原則が遵守され、耕起は5[㌔]の深さに

止め、季節を通じてキュウリ・ナス・トマトなど33種の少量多品目の野菜類の栽培が行われている。収穫物は友人に紹介された箱根・湖尻にある高級レストランに着払いの宅急便で届けられているそうだ。

地域活性化のキーパーソンである浅田さんは、その他にもいくつかの顔を持っている。地域づくり協議会の地域活性化委員長を務め、協議会で粉碎機を購入、自然栽培の普及を図っているという。また旧天城湯ヶ島町を領域とする天城観光協会の特産品開発部長としても活躍、11月3



上：県職員も棚田博士と同行／右：軽トラの上には竹チップの粉碎機



日修善寺駅構内で開催される「天城スイーツフェア」ではモナカ・どら焼き・草餅などを販売する仲間とともに、浅田ファームからは天城柚子ジャム・天城柚子チョコの出店を予定しているとのこと。それを案内するチラシを見せてもらった。

さらに、自身がバレーボールの選手として大学で活躍、体育教師の免許状を持っているというキャリアから、地域のスポーツ少年団の部長や静岡県バレーボール成人女子部の監督をも務めている。試合に行き全国各地へ出かけるので、農作

業に穴をあけることになるが、それを許している家族に感謝していると仰る。

隣接した百選の棚田は 荒れ地に

帰りに湯ヶ島市街地の西3キロ、長野（荒原）と対照的な位置にある同じ百選の棚田、日陰（下ノ段）を訪ねてみたが、草刈が行われ棚田の原形はとどめているものの耕作はされていないかった。同じような地理的環境にあり、ワサビ農家でもありながら、耕作放棄がほとんど見られない

長野と比べてなかが異なるのか。浅田さんに聞いてみると、電柵のみで獣害対策が不十分な日陰に対して、長野では中山間直接支払の5年間分をプールして、集落全域をフェンスで囲ったからではないかとのこと。今や棚田地域では電柵だけでは十分でなく、強固なフェンスで囲わない限り、営農が困難なほど獣害は深刻な状況になっているのである。

荒原の棚田へのアクセス



【公共交通】 修善寺駅前5番乗り場から湯ヶ島、湯ヶ島温泉、天城の杜、八丁池口、河津駅行きのいずれかに乗り弘道寺入り口で下車。徒歩すぐ

【自動車】 修善寺前から修善寺IC、月ヶ瀬IC、国道414号線経由で県道59号線に入る。月ヶ瀬ICより6km

桜をつなぐ、人をつなぐ、棚田をつなぐ

東京都荒川区 北部緑地株式会社 座主 雄太



棚田は未来に伝えていくべき貴重な風景なのではないか？そして棚田からは未来へ活かすべき先人たちの知恵を学びとるべきではないか？私の勤める北部緑地株式会社ではそんな想いから法人会員としてネットワークに参加させていただいています。北部緑地は東京都内で主に公園建設や都市緑化などの造園を営む社員10名の小さな会社です。

先日、会社に新潟県産コシヒカリが届きました。会社に届いたお米に社員一同首をかしかけたのですが、実はこのお米は棚田での植樹活動のお礼にいただいたものでした。社員全員で研修として訪れた新潟県十日町市の棚田。そこで出会った棚田のひとつに桜が美しく写真スポットになっている「儀明の棚田」がありました。星峠の棚田をはじめ棚田の壮大な風景の美しさに驚き、またこんな風景をどうやって守っていけるか、造園会社としてなにかできることはあるのだろうかかと社員同士で話しあっていた中で、この桜の木の樹木診断をするというお話をいただきました。樹木医である当社社長が診断したところ、今すぐ倒れる状態ではないが将来的には倒伏して枯れてしまうという診断でした。

私たちは、この儀明の棚田の桜のある景色を継いでいくためには、いまの桜が朽ちてから新しい桜を植えるのではなく、ちいさな苗木を植えて今

のうちから世代交代の準備を進めていくとよいのではないかと考えました。そこで、地元の保存会の方からもお声かけいただき、未来のシンボルツリーとなる桜の苗木を植えることとなりました。会社に届いたお米はそのちいさな活動への保存会会長からのお礼だったのです。

北部緑地は東京の荒川区にあり、荒川区には農地がほとんどないほどで当然といえば当然ながら近くに棚田はありません。またひとくちに造園と農業といっても近いようと思った以上に遠い面もあり、儀明の棚田をはじめ棚田へ想いをはせながら自分たちができることはなんだろう？と模索しているなかでしたので、ちいさな一歩ではありますが思いがけず届いたお米には社員一同とても感激しました。

お米は荒川区の子ども食堂へ届けることにしました。荒川区に住む子供たちが普段は遠い棚田や日本の農業について知ってもらえたらと考えています。こうした活動を通して棚田の風景や農業のすばらしさを継いでいけたらよいとおもいます。また今年は造園会社として樹木診断だけではなく、さらに活動をひろげて日頃培った技術を駆使して棚田の現地測量や図面の作成などの基礎から、日常の草刈りのお手伝いなどにもチャレンジしようとしています。

会員のひろば



会員の声募集！



「こんな活動をしています」「こんなことやります」という皆さんの声を編集部までお寄せください！「ご要望、感想やご質問でもOK！」(会員の声800字まで、会員レポート400字まで、写真も添えて) 〒160-0023 東京都新宿区西新宿7-1-181-6 トーシンハイム704号「棚田に吹く風 会員のひろば」宛 メールでも受付いたします ↓ hiroba@tanada.or.jp



会員のみなさんの
ベストショット募集!!



みなさんが撮影した棚田や作業風景の写真など、ベストショットをコメント(70文字程度)を添えて編集部まで送ってください。毎号、紹介させていただきます! 送り先は下記。

〒160-0023
東京都新宿区西新宿7-18-16
トーシンハイム704号
「棚田に吹く風 ベストショット」宛
メールでも受け付けています
⇒ hiroba@tanada.or.jp



岩首昇竜棚田

新潟県佐渡市 大石惣一郎

岩首昇竜棚田展望小屋「そらまめ」から望む田植え直後の棚田に
集落民有志でライトアップ用の「棚田ほたる」を設置しています。



編集部イチオシ! **BOOK & MOVIE**



4,000円(税別)

公益財団法人
日本離島センター

2019年11月

新版 日本の島ガイド
SHIMADAS (シマダス)

知る人ぞ知る、島の総合案内書「シマダス」。昨年末満を持して15年ぶりに発刊されました。前版に比べて600島も増えて、なんと全1750島が掲載されています。もちろん、島には多くの棚田があり、その情報も沢山掲載されています。一昨年発売の「タナダス」は、まさにこの「シマダス」をオマージュし、刊行されたものでした。SHIMADAS + TANADASで、島棚田巡りは完璧?!



佐藤洋一郎 著
980円(税別)
中公新書
2020年2月

米の日本史
稲作伝来、軍事物資から和食文化まで

イネの起源や伝播についての研究を専門とする農学博士の佐藤洋一郎の新刊。日本のコメの伝播から発展、そして和食と菓子、酒造りなどの文化的発展、近代の軍事物資としての経済的発展など、得意の遺伝分析はもとより地学、歴史、文化、経済など多角的に日本人にとっての米を語りつくす。巻頭の口絵カラー写真には、当団体の法人会員であるプレナス所蔵の細川護照作、壁画「棚田の四季」も掲載されている。著者ご本人の強い希望により実現したという。



このコーナーでは、棚田ネットワークのスタッフの活動や事務局のことなどを幅広くお伝えしていきます。

石部の棚田米がコンテストで金賞!

2019年12月1日 報告 高桑 智雄

玄米の機能性の研究促進を目的とするメディカルライス協会が主宰する「第1回G1玄米食味コンテスト」で、石部棚田プロジェクトで作った玄米が、なんとグランプリ(金賞)を受賞しました。

全国54カ所のプロの生産者が作る有機玄米が出品されるなか、素人集団が作った体験米が、審査員5名のすべてが最高得点をつけ、会場内の一般投票でもダントツの得票数を獲得してしまいました。棚田の環境が米を美味しくすることが、ある意味証明されたのではないのでしょうか。賞金の10万円は当団体と石部棚田保存会に寄付されました。



「まちの先生見本市」に参加しました

2020年1月25日 報告 小川 順子

こども環境学習イベントである第19回まちの先生見本市が1月25日開かれ棚田ネットワークもブース出展しました。

会場は新宿区立富久小学校。同じ新宿区内でも、歌舞伎町や都庁のビル群の賑やかさとは無縁な閑静な住宅街の中にあります。

今回は「棚田はみんなの宝物」というテーマで、恒例の紙芝居に加えて棚田地域振興法が出来たお話をしました。その後で、こき箸を使っての脱穀体験。児童数が100名に満たない学校ですが、たくさんの親子や児童が訪れ、一日があったという間でした。



趣味と道楽

趣味と道楽は同義と思っていたが、趣味は「人間が自由時間に好んで習慣的に繰り返しおこなう行為事柄やその対象」とのこと。道楽は「自分の生活の中に仕事とは別に熱中できる趣味に『ふけり』、それを楽しむ」とことある。つまり趣味は事象を、道楽は行為を示すようだ。50年以上続けているオーデオは「道楽」と思うがエコープロや棚田地域の余興に役立つこともある。道楽をつきつめることを「極道」といつらいつい。

ジューク・ボックス

縁あってジューク・ボックスのメンテに関わることになった。川崎の会社は家族経営で、お手伝いとして工業高校の生徒2名とその先生が現れた。シングル盤用は1950年代から生産され80年代はCD用もあったようだ。修理依頼が全国からあり手が足りないから手伝ってくれ、と。高校生にオーデオの知識を教えるのが楽しく、修理よりもこちらがメインになりそうだ。

鮫鱈

91歳の父が茨城・常陸多賀の母校を訪ねたいというので同行。北茨城の温泉民宿で鮫鱈を食した。「どぶ汁」という漁師料理で肝を溶き鮫鱈の水のみで仕立て、濃厚で大変美味しい。秋〜年内までが美味しく夏以外なら食べさせてもらえる。ただし今後汚染水の放出が気がかりだ。

鴨川

棚田倶楽部から見下ろす大山千枚田が陽ざしの中で春めいている。2月23日は2020年度オーナーの現地説明会に参加し、新メンバーにオーナー親睦会について案内。毎年この会があると「今年も始まったな」と思いを新たにす。さて自分の棚田活動は「ふけり」(ふけている)ではなく「道楽」ではないのだろうか。きつと。

スタッフの
つ・ぶ・や・き
＜輪番制＞



今回のつぶやき人
事務局
パンチョTK



千葉県鴨川市

川代棚田でお米づくり

あなたも気軽に棚田体験してみませんか？



収穫祭の様子

鴨川市川代の体験プログラムは、今年で6年目を迎えます。昨年、鴨川市は台風の襲来で甚大な被害を受けましたが、ゼンリンデータコムとの研修を含め体験プログラム自体は延べ88名の参加で9月初めに終わっていたため無事でした。

昨年、棚田地域振興法が施行され、棚田カードが作られるなど棚田が取り上げられる機会も増えましたが、棚田地域の抱える現状は厳しいものがあります。実際に田んぼに入り、田植えや稲刈り体験などの機会を提供することは当ネットワークの大きな活動の一つです。

今年も、地元川代のオーナー制度と行事を合わせ、現地集合方式で田植え、草取り、稲刈り、更には収穫祭など予定しています。会員はじめ多くの方の参加をお待ちしています。

(杉山 行男)

岐阜県恵那市

棚田ビオトープ プロジェクト

「かえるの卵を探そう！」



今年温暖化傾向が強く、3月上旬すこりのむしとをひらく「蛭虫啓戸」には、すでにヤマアカガエルが卵を産んでいるとの連絡が来ました。これまで一番早くても3月中旬でしたから、3週間ほど早く春が来ています。坂折棚田がある岐阜県の南・美濃では、北・飛騨と比較してそれほど雪は積もりません。ただ一度雪が積もると、寒さのため雪が残ります。しかし、今年の冬は暖冬で、私の住む可児(同じ美濃ですが坂折棚田よりは暖かい)ではスタッドレスタイヤの必要がありませんでした。暖かいのは有難いのですが、何か腑に落ちません。

さて、恒例のヤマアカガエルの卵塊を探す「第13回かえるの卵を探そう！」を3月20日(金祝)に開催。14名(大人5名、子供9名)の参加で、計24個の卵塊を発見。事前調査で1回目9個、2回目126個でしたので合計159個の卵塊を見つけました。今年気候不順ですので、もう一回調査に行く予定です。

現在放映中のNHK大河ドラマ『麒麟がくる』の舞台はここ美濃です。明智光秀の痕跡を探りつつ、棚田の訪問はいかがでしょう。(相田 明)

静岡県松崎町

石部棚田で昔ながらの米づくり

9年目の米づくり始動



今年も石部棚田でのお米づくりプロジェクトが始まり、3月9日にスタッフ2名で最初の作業である田起こしを行って来ました。9年目をむかえるこのプロジェクトも今年は転機の年をむかえます。「昔ながらのお米づくり体験」として年6回の作業体験イベントを開催してきましたが、参加者の減少や日程調整が難しく、今年から体験イベントは田植えと稲刈りの2回の開催とします。その他の準備作業に関してはスタッフが中心となりボランティアを募集しつつ行っていきたいと思いますので、よろしくお願いします！ (高桑 智雄)

【体験イベント】

■5/16(土) 17(日) 田植え体験 ■10/3(土) 4(日) 稲刈り体験

【準備作業(予定)】

■3/28(土) 29(日) 畔切り・養口作り ■4/12(日) 13(月) 養口作り・代掻き ■5/2(土) 3(日) 畔付け、畔塗り ■7/4(土) 5(日) 草刈り・草取り ■8/22(土) 23(日) 草刈り・草取り

全国棚田(千枚田)検索サイト

棚田NAVI

2020年
4月初旬
OPEN!



全国の棚田情報がキーワード検索できる『棚田NAVI』が2020年春にオープンします。地域はもちろん、オーナー制度、ライトアップ、棚田カードなどニーズにあったキーワードで絞り込み検索もできる業界初の棚田データベースサイトです。棚田の特色や基本情報ほか、GoogleMapとの連動でアクセスも早わかり。地域情報などは関連サイトへのリンクもありポータルサイトとしての機能も充実させていきます。まずは50地域でオープンし、随時全国の棚田を網羅していきます。ご期待ください!

<https://tanada-navi.com>



わたしたちと「棚田の応援団」やりませんか!

棚田ネットワークは「棚田の保全に協力したい!」という会員によって自主的に運営されているNPOです。消えゆく美しい“棚田”をどのように保全していくことができるのでしょうか?一緒に考えませんか?ぜひ、私たちと棚田の応援団になりましょう!

会員になろう!

年会費

私たちは、会報誌「棚田に吹く風(年4回)」やホームページで豊富な棚田情報を発信しています。会員になりこれらの活動に参加してみませんか?

- 個人会員
 - 維持会員 1口1万円(1口以上)
 - 一般会員 4,000円
 - 応援会員 3,000円
 - 学生会員 2,000円

法人会員を募集しています!

私たちは、棚田を守るため、農山村の人々と都市住民双方の協力のもとに様々なプログラムを企画・運営しています。これらの社会貢献活動に賛同し、ご支援いただける企業・団体・事業主様を募集しています。詳細はお問い合わせ下さい。

年会費

- 法人会員(賛助会員) 1口3万円(1口以上)

編集部から

世界初の「玄米食味コンテスト」で、われわれが作った石部棚田での体験米の玄米がグランプリ(金賞)を受賞してしまつた。受賞者講演で、棚田米が美味しいと言われる理由はいくつかあるが、正直米づくりのブ口ではないので、なぜ美味しくなるのかわからないと語つたあと、一人の男性が声をかけてきた。その人は銅賞受賞者で、新潟で長年有機無農薬米をつくる生産者で、石部棚田米がなぜ美味しくなるのか説明できると言う。それは棚田の豊かな土壌に、海からの潮風が吹き込むことで土壌のバクテリアが爆発的に活性化化するからだ。その環境に平地の田んぼは絶対になわなうと言つて去つていった。

ホームページの姿を見て!

棚田ネットのWebサイトも見てみてください!



<https://www.tanada.or.jp>

棚田に吹く風

2020年 春号 Vol.115

発行  認定NPO法人
棚田ネットワーク

〒160-0023
東京都新宿区西新宿 7-18-16 トーシンハイム 704 号
Tel / Fax 03-5386-4001
e-mail : info@tanada.or.jp URL : www.tanada.or.jp
郵便振替口座 : 00100-7-151565